

≪事業計画の内容≫

※●は事業概要 ★は具体的な実施内容

① 地域の暮らしを守るための事業 6,788 千円

地域の足の確保検討事業【令和5年度のみ単年度事業として実施】 495 千円

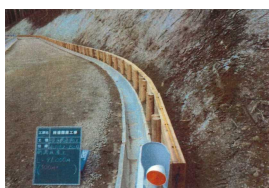


Sバス「西部線」

●令和5年度より新たな路線網で運行開始を計画しているSバス「西部線」の車両に、千郷地域住民よりデザインを公募し、地域の方がデザインした図柄を車両にラッピングします。同時に路線名や車両の名前なども公募により決定し、これを正式な呼び名として採用することで、地域の認知度や愛着の向上及び利用者の増加を図ります。

★Sバス（西部線）のラッピング業務委託を実施予定。

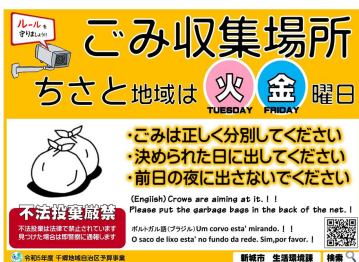
林道雁峰線施設管理事業【令和9年度までの継続事業「6ヶ年計画」】 5,000 千円



●本市として森林施業に必要な道としてのみではなく、多様な目的で利用され重要な役割を担っている林道雁峰線です。良好な施設管理と地域住民による維持管理の負担軽減、更には地域住民の安全・安心を図るため、法面の崩落の危険性があり緊急度の高い箇所を選定し、法面の崩落によって側溝が埋まってしまうよう、計画的に「側溝保護工」を設置します。

★R5は起点側から、「山区」・「杉山区」内の林道約400mを実施予定。

可燃ごみ集積所周辺環境改善対策事業【令和5年度のみ単年度事業として実施】 1,293 千円



●千郷地域自治区内の各行政区等により設置されている可燃ごみ集積所（『ゴミストッカーによる集積所』や『ネットなどにより対応している集積所』などの条件は問わない。）への、「ごみ出しモラル」や「ルール厳守」の注意喚起を目的とした看板を製作・設置を実施し、一部のルール等を守らない地域住民によって引き起こされている生活環境の悪化に対する課題解決に向けた一つの取組みを千郷地域全域で行います。（※本事業はR5年度単年度のみ事業として実施します。）

★設置計画に基づき、「全行政区の各可燃ごみ集積場所」へ設置を実施予定。

② 地域の安全安心を促すための事業 3,867 千円

AED 設置管理普及推進事業 1,813 千円



●公民館や集会施設、また千郷地域内のコンビニエンスストア等へ自動体外式除細動器（AED）を整備し地域住民の安全・安心を図ります。また、あわせて千郷地区防災連絡会や関係機関、関係団体と協力し、地域の方へAEDの適正な取扱い講習を実施します。

★AED設置のためのリース費用（16行政区、5店舗）、AED講習会の参加を促進します。

まちづくりロード形成事業 70 千円



●平成27年度地域自治区予算事業で設置した、地域を跨ぎ、人通りが多い公共空間や主要道路に設置された照明灯の適正な維持管理を次年度も継続的に実施し、地域計画にあるように安心して暮らせるまちを目指し地域住民の安全・安心及び防犯意識の高揚を図ります。

★国道151号線（杉山北交差点～川田跨線橋付近間）計10箇所の照明灯の継続管理。

千郷地区防災施設備品等整備事業

1,674 千円



●千郷地域における市の指定避難所の防災資機材等の計画的な設置及び、各行政区における自主防災会への防災備品の整備を進め有事に備えます。

★千郷地区防災連絡会により策定された防災資機材等整備実施計画に基づき、主に市指定避難所4箇所（西部公民館・千郷小体育館・千郷中体育館・千郷西こども園）での使用を想定した各種備品整備を実施します。

※資機材整備計画に基づき R5 は避難者用毛布（圧縮ハッ）、避難所用簡易ハッを整備予定。

地域景観向上事業【令和6年度までの継続事業「5ヶ年計画」】

310 千円



●環境美化活動として地域内の各所にプランターを置き、花などの生育管理と同時に、子どもたちの登下校時の見守りにつなげるため「通学路花街道（仮称）」づくりを進め、子どもたちの登下校時の安全確保の強化を図ります。

★本事業の趣旨に賛同いただき、ご協力していただける地域の方々により、R5 は実施計画書に基づき前年度からの継続設置も含め約 140 個のプランター設置を予定。

③ 地域の活性化を図るための事業

2,373 千円

共育推進事業【令和6年度までの継続事業「3ヶ年計画」】

248 千円

【共育とは】

※「共に過ごし」、「共に学び」、「共に育つ」の考えから、子ども達のみならず、地域住民が地域活動などを通して、顔と名前のわかるネットワークを広げ、地域の安全を守り活力のある「まちづくり」を進めるための「合い言葉」です!!



「ちさとともちゃん」

●新都市の教育理念である「共育」に基づき、千郷地域に共育コーディネーターを配置し、千郷地域在住の得意分野を持っている住民の方を人材として掘り起こしを行い、「CHISATOMO リーダー」として協力を求め、公民館や集会所などで、地域の子どものみならず、地域住民を対象とした「CHISATOMO クラブ」を開催し活発な交流促進を図ります。

★事業実施主体である「千郷地域子育て連絡協議会」に対する補助金として予算措置。

地域と子どものふれあい事業

215 千円



●子ども達の自主性や社会性などを育成し、地域と子どもの顔が見える関係づくり構築を目的とした企画・事業実施を行います。また、令和5年度は引き続き試行的な取り組みとして地域拠点等における施設開放を実施し、子どもはもちろん地域住民が何時訪れても安心して気兼ねなく集える居場所づくりを進めます。

★千郷地域内におけるプレーパークの企画開催／地域拠点施設（公民館等）開放の実施。

地域集会施設整備費補助金上乗せ補助事業【令和8年度までの継続事業「5ヶ年計画」】

1,910 千円



●各行政区の拠点施設の老朽化に伴い、維持管理の負担や公民館活動にも支障をきたしており、更新や修繕等に苦慮していることが課題となっています。このため既存の新都市地域集会施設整備費補助金に、地域自治区予算枠の範囲内において「上乗せ補助」を実施することによって行政区の金銭的な負担軽減を図り、地域住民の様々な活動、また交流の場としての拠点整備推進を図ります。

★R5 は「片山・石田・徳定」公民館への施設整備費補助金の上乗せ補助を実施。

(※各事業の事業費については、概算であるため若干の変更が生じる場合もあります。)